

資料：業務作業表

県有家畜作業表

- 県有肉用繁殖牛の飼養及び生産子牛の哺育・育成、売却
- 家畜飼養・放牧管理
- 飼槽・水槽の清掃、配合飼料・サイレージ・乾草の取り出し運搬給与、給塩、飼槽・道路等の除雪、水槽の凍結融解
- 糞尿処理、畜舎内清掃、敷料交換、家畜の群再編成移動、体重測定、家畜・畜舎等施設の消毒畜舎・施設等の補修・改善等、去勢、除角、鼻カン装着、耳標装着、場内の環境整備
- 牧柵の補修、放牧区移動、給水、給塩、不良植物除去
- 繁殖管理
- 発情発見(放牧地及び各畜舎パドックの宿直者による夜・早朝及び担当による午前・午後の看視)、発情確認(捕獲・外部兆候確認・直腸検査による確認)、種付け(人工授精・受精卵移植)、妊娠鑑定(捕獲・直腸検査)
- 分娩看護、発情誘起、繁殖治療
- 分娩看護
- 分娩予定牛の分娩施設への収容、分娩準備のための増し飼い等管理、宿直者・担当者による看視、必要に応じ助産・分娩誘起処理、産後処理(哺乳確認または哺乳・後産等処理)
- 更新・廃用
- 定期的な更新計画の検討・廃用牛の抽出(年齢・繁殖障害・哺育能力欠如・改良効果の低下・疾病・不慮の事故等によるチェック)、更新牛の抽出(基本登録・発育審査・改良効果等のチェックと改良効果についてはすでに交配計画の時点で検討しておく)、改良効果を考慮した交配計画(雌牛の過去の産肉成績及び血統等の能力チェックとそれを補完し改良効果の上がる組み合わせ)
- 子牛登記
- 分娩直後の体重測定、鼻紋採取(子牛及び母牛)、書類作成(鼻紋添付申請書・受精卵による場合は移植証明・血液型証明等)
- 哺育・育成
- 分娩後の哺乳確認または哺乳、分娩施設での管理(毎日の房の除糞・敷料交換・宿直者及び担当者による個体チェック・離乳飼料への馴らし等の管理)
- 離乳前の群管理・分娩施設からの移動及び体重測定、毎日の宿直者及び担当者による個体看視、ロールサイレージ給与及び給餌機による離乳飼料給与、舎内・パドックの定期的除糞・敷料交換
- 離乳後の群管理・施設の移動、離乳時の体重測定、ロールサイレージ給与、濃厚飼料本格的給与、毎日の宿直者及び担当者による個体チェック、定期的体重測定による健康チェック、舎内及びパドックの定期的除糞・敷料交換
- 育成管理・離乳後の大群から小群へ移動個体管理の強化、毎日の宿直者及び担当者による個体チェック、定期的体重測定による健康チェック、舎内及びパドックの定期的除糞・敷料交換、妊娠払い下げ雌牛は時間放牧管理
- 育成雌牛の種付け
- 対象牛の母・兄弟等の能力データと本牛の血統から交配計画作成(農家のニーズにも積極的に対応)、月齢・発育状況により種付け、発情発見(放牧地及び各畜舎パドックの宿直者による夜・早朝及び担当による午前・午後の看視)、発情確認(捕獲・外部兆候確認・直腸検査による確認)、種付け、妊娠鑑定(捕獲・直腸検査)
- 育成雌牛の保留・基本登録
- 改良効果の上がる優良牛の抽出(発育・母兄弟の成績・本牛の血統チェックによる)、基本登録(各部位の測定・体型審査・鼻紋採取・鼻紋添付の申請書作製等)
- 売却
- 体重測定、発育・血統等による牛の評価、名簿の作製・送付、県との連絡調整、農家のニーズ把握、関係団体等への連絡調整、売却牛の引き出し・積み込み、登記書等に係わる事務処理、関係団体への売却情報提供
- 飼料給与の設計
- 成雌牛(繁殖基礎雌牛)・子牛(0~2月)・子牛(3~6月)・育成(7~9月)・育成(10月~)の5パターンを基本に施設毎に必要な養分量摂取可能な給与体系を考慮
- 衛生管理
- ワクチン接種(成牛200頭年1回定期的接種・子牛5種混合全頭)、牛舎消毒、牛体への薬剤塗布及び薬剤耳標装着、踏み込み槽設置、定期的除糞による衛生的管理、疾病・事故等の継続的且つ効果的治療(経口補液剤・点滴・抗生物質投与等)
- 家畜排泄物処理
- 毎日及び定期的な除糞・敷料交換によるボロを堆肥化施設へ運搬
- 施設・車両等の維持管理
- 施設保守点検と補修、使用車両の定期点検と整備(オイル交換・グリスアップ・洗車等)
- 農家の巡回指導業務
- 繁殖牛飼養農家の巡回指導
- 繁殖牛飼養管理、特に繁殖管理について実態を調査把握、適切な飼料給与量・管理の問題点の改善等指導、必要に応じて妊娠鑑定・繁殖診断
- 売却牛の産肉調査
- 農家への直接巡回により成績・出荷情報取得、食肉センター等の共励会で情報取得、データの事務処理及び交配計画等への利用
- 肉用牛農家意向調査
- 定期的に農家との連絡をとり導入・交配希望把握、アンケート調査
- 改良増殖
- 県有牛の改良
- 基礎雌牛の過去の産肉成績及び血統から能力評価、優良種雄牛情報収集、改良効果の上がる交配計画作成、優良種雄牛凍結精液確保
- 肉用種雄牛検定事業
- 受精卵による交配計画、検定牛作出・提供
- 受精卵移植技術普及定着化事業
- 優良供卵牛の提供(必要に応じ交換)、必要に応じ供卵牛処置及び採卵
- その他
- 肉用牛改良推進事業(高品質和牛倍増プラン推進事業)
- デ・タ記録等事務処理
- 肉用繁殖牛の振興対策
- 繁殖牛飼養農家の掘り起こし
- 肉用牛登記・登録業務協力
- 鼻紋採取等登記実務及び事務処理、鼻紋採取・体側・審査等登録実務及び事務処理(農家出張も含む)
- 研修生の受け入れ
- 研修生受け入れに関する事務、研修の実施

資料：業務作業表

草地・環境作業表

貯蔵飼料収穫・調整・保管

ロールサイレージ

刈り取り 乾燥・反転(最短2日) 集草 梱包 集積積み込み 運搬 移動 ラップ処理 積み込み収納(縦2段)

ロール乾草(調整期間が天気に著しく左右される)

刈り取り 乾燥・反転(最短3日) 集草 梱包 集積積み込み 運搬 移動 積み込み収納(横2または4段)

草地の維持管理

施肥(本場大平・古杣団地、本場大泉団地、天女山分場の3団地)

採草地：高度化成肥料-基肥(春)・追肥(夏、一部3回刈り草地は2回施肥)・秋施肥(秋)約77haを年3~4回散布

苦土石灰-年1回散布

堆肥-年1回散布

放牧地：高度化成肥料-基肥(春)・追肥(夏)・秋施肥(秋)約254haを年3回散布

苦土石灰-年1回散布

整備

不良植物除去(薬剤散布・刈り取り・抜根)、倒木の切断除去、除石

簡易圃場整備-耕起 砕土 整地 播種 施肥 鎮圧

草地に係わるその他の維持管理

作業道路の保守管理(敷砂利・整地鎮圧)水路の管理(土砂・ゴミ除去、補修)災害予防(素堀、水みちの確保)

農機具の維持管理

日常点検：給油(燃料、オイル、グリス)給水、バッテリー充電及び液補充、タイヤ空気圧、車両作業機清掃洗浄

定期点検：電気配線系統、油圧作動系関係、PTO作動系統、ステアリング関係、オイル及びエレメント洗浄交換(エンジン、燃料、ミッション、ハブ、デフ、ブレーキ、クラッチ、エア、油圧作動油、ステアリング)、

ラジエター洗浄及びクーラント交換、クラッチ系、ブレーキ系、変速レバー系テンション、アクスルピン、シム、リング、シール等調整及び消耗部品の交換、タイヤ交換

修理：破損箇所修理(機械分解 破損箇所加工及び必要部品調達 部品交換・改造・代用品製造 組立)

塗装箇所改修(機械分解 清掃錆落とし 塗装 組立)

主要作業機：大型トラクター6台、ロールベアラー(梱包)1台、モア(刈り取り)2台、テッター(反転)2台、レーキ(集草)2台、ラッピングマシン1台

トラック2台、トレーラー2台、ホイールローダー1台、管理用自動車5台

家畜糞尿の堆肥化处理

堆肥化处理及び製品管理

搬出糞尿の集積 水分調整 切り返し 機械投入 攪拌処理 搬出 集積

売却

売却希望者との連絡調整、堆肥の積み込み・配達、売却者の意向調査

施設・機械の保守管理

攪拌機整備(オイル交換、グリス注入、攪拌棒の交換、弛み歪み等の調整)、バンクリーナー・ボイラー・プロアー等の点検整備、建物保守管理

製品の散布計画

製品成分分析 散布計画作成

県有車両の法定点検

県有車両の法定車両検査及び特定自主検査(車両系建設機械)に関する事務手続き

受検計画及び検査前の洗車・整備等

県有車両の定期点検(年2回)

対象車両の洗車・整備等の管理

受検のための書類作成

受検立ち会い

燃料(危険物免許取得者)管理

燃料庫の安全管理

指定された燃料量の保管、火気注意、施錠等

車両等への給油作業時の指導燃料管理の安全指導

燃料種別違い注意、保管時の注意等の指導

燃料荷受け及び消費状況管理

種別消費量の把握、消費状況及び管理許容量に見合った荷受け

資料：業務作業表

預託家畜作業表

夏期放牧管理

入退牧申請事務

農家との連絡調整、家畜保健所との連絡調整、申請書の内容確認

冬期預託家畜移動

継続入牧家畜移動の連絡調整、必要に応じ家畜移動

放牧管理（6群・約400頭）

毎日の管理（頭数確認、個体ごとの看視、給水、給塩）、放牧区移動、月1回の衛生検査時の体重測定（育成群のみ）

衛生管理

入牧時薬剤耳標装着（2枚/頭）、月1回の衛生検査 - 牛体消毒・ダニ防除薬剤塗布・駆虫・血液検査・一般臨床検査（呼吸・歩様・糞便・尿・貧血・体温・皮膚病・外傷等）、病牛治療及び畜舎収容

繁殖管理

発情発見（放牧地及び各畜舎パドックの宿直者による夜・早朝及び担当による午前・午後の看視）、発情確認（捕獲・外部兆候確認・直腸検査による確認）、種付け（人工授精・受精卵移植）、妊娠鑑定（捕獲・直腸検査）、

発情誘起、繁殖治療

疾病の予防及び治療

入牧検査時のワクチン接種の励行（5種混合・アカバネ）及び馴致指導、吸血昆虫対策及び駆虫、放牧区での異常の早期発見、必要に応じた家畜の畜舎収容、継続的且つ効果的治療（担当及び共済引継による農家への

継続的治療）

放牧地・付帯施設管理

柵の補修（毎日6群の放牧区ごと）、不良植物の除去、給水施設の保守管理（給水切り替え・漏水チェック及び補修・水槽清掃）管理道路補修

分場基地施設維持管理

施設の保守点検と補修、施設内の清掃、基地周辺の除草等環境整備

使用車両等の点検整備

定期的にオイル交換、グリスアップ、洗車

個体管理事務

名簿作成（タック・耳標・生年月日・品種・種付け希望・ワクチン接種の有無・放牧区・種付け日・入退牧日）、体重測定記録、放牧料金計算

医薬品及びその他の物品購入事務

医薬品の在庫チェック及び必要量とりまとめ購入手続き、医薬品使用量のチェック、その他物品購入書類提出

冬期飼養管理

入退牧申請事務

農家との連絡調整、家畜保健所との連絡調整、申請書の内容確認

夏期預託家畜移動

継続入牧家畜移動の連絡調整、必要に応じ家畜移動

飼養管理（200頭）

飼槽・水槽の清掃、配合飼料・サイレージの取り出し運搬給与、給塩、飼槽・道路等の除雪、水槽の凍結融解

糞尿処理、畜舎内清掃、敷料交換、家畜の群再編成移動、体重測定、家畜・畜舎等施設の消毒畜舎・施設等の補修・改善等、場内の環境整備

衛生管理

入牧時の薬剤タック装着（2枚/頭）、衛生検査 - 牛体消毒・ダニ防除薬剤塗布・駆虫・血液検査・一般臨床検査（呼吸・歩様・糞便・尿・貧血・体温・皮膚病・外傷等）、病牛治療及び単房収容

繁殖管理

発情発見（放牧地及び各畜舎パドックの宿直者による夜・早朝及び担当による午前・午後の看視）、発情確認（捕獲・外部兆候確認・直腸検査による確認）、種付け（人工授精・受精卵移植）、妊娠鑑定（捕獲・直腸検査）、

発情誘起、繁殖治療

疾病の予防及び治療

入牧検査時のワクチン接種の励行（5種混合・アカバネ）、駆虫、異常の早期発見、必要に応じた家畜の病畜舎収容、継続的且つ効果的治療（担当及び共済引継による農家への継続的治療）

放牧地・付帯施設管理（時期により放牧可能）

柵の補修、不良植物の除去、給水施設の保守管理（給水切り替え・漏水チェック及び補修・水槽清掃）管理道路補修

本場基地施設維持管理

施設の保守点検と補修、施設内の清掃、基地周辺の除草等環境整備

使用車両等の点検整備

定期的にオイル交換、グリスアップ、洗車

個体管理事務

名簿作成（タック・耳標・生年月日・品種・種付け希望・ワクチン接種の有無・放牧区・種付け日・入退牧日）、体重測定記録、放牧料金計算

医薬品及びその他の物品購入事務

医薬品の在庫チェック及び必要量とりまとめ購入手続き、医薬品使用量のチェック、その他物品購入書類提出

農家の巡回指導

入牧検査

家畜の入牧の適否を判断、入牧のための馴致指導、ワクチン接種の勧め、種付け等個体情報の聴取

退牧後の巡回

妊娠鑑定、継続的治療、継続的入牧の勧め（預託農家の意向調査含む）

その他

牧場の利用推進

預託農家の掘り起こし

繁殖技術向上

場内講習、講演・研修への参加計画

受精卵移植普及定着化

供卵牛提供、試験研究機関とタイアップした雌雄判別卵等移植協力